かり

やすく説明しているよ。

費用をかけているの?

(P.3) 平成24(2012)年4月1日現在の現住人口 人口の推移 124,795 人 (人) 【各年10月1日現在】 -130,889 134,916 136,340 **137,057** 135,415 130,00019 603 119,395 120,111 120,839 124,208 注)人口の推移| 120 000 -現住人口 110,000 合併前の旧北会津村 (年) 及び旧河東町含む 平成23(2011)年度 歳出の推移 普通会計決算額 (千円) 47,356,878 千円 1) 2003/2004/2005年度 50,000,000 平成15(2003)年度以前は旧会津若松市のみの金額 平成16(2004)年度に旧北会津村と合併 ■その他 40 000 000 平成17(2005)年度に旧河東町と合併 ■投資的経費 | 生活保護などの福祉施策に係る経費 2)扶助費 30.000.000 | 借入金の元利償還金など 3)公債費 ■物件費 4)物件費 | 賃金、旅費、需用費、備品購入費、 20.000.000 □公債費 委託料、使用料及び賃借料など ■扶助費 5)維持補修費 | 公共施設の維持補修に要する経費 10.000.000 6) 投資的経費 | 道路や橋を含む公共施設整備費など 7) その他 |補助金、負担金、積立金など 8) 普通会計 | 一般会計と扇町土地区画整理事業 特別会計のうち道路整備事業分の合計 【平成24(2012)年3月31日現在】 公共施設の建築推移 安定成長期※5 高度成長期※4 経済停滞期※6 1989 消費税導入 1993 会津大学開学 1964 東京五輪 - その他 (m^2) 1970 大阪万博 1991 バブル崩壊 1995 福島国体開催 ■ 公園 80,000 ■公営住宅 平成 5(1993) 年度 昭和 47(1972) 年度 ■ 行政系施設 あいづ総合体育館 鶴ケ城体育館建設 70.000 ■医療施設 1981.6.1 以降 河東総合体育館 1975年度(1977,1982,1995) ■ 保健・福祉施設 会津風雅堂建設 公設地方卸売市場建設 60,000 ■ 子育て支援施設 平成 12(2000) 年度 昭和 40(1965) 年度 ■ 学校教育系施設 若松城干飯櫓• 若松城天守閣再建 ■ 産業系施設 50,000 南走長屋再建 スホ[°]ーツ・レクリエーション 系施設 平成 22(2010) 年度 - 40,000 ■ 社会教育系施設 會津稽古堂建設 ■ 市民文化系施設 30,000 20,000 いるわね。 70 築されて 年代から 多くの公共施設が 10,000 90 1962 1967 1972 1977 1982 1987 1992 1997 2002 2007 1961 (年度) ~1966 ~1971 ~1976 ~1981 ~1986 ~1991 ~1996 ~2001 ~2006 ~2011 年代 新耐震基準(1981.6.1 以降) 旧耐震基準(1981.5.31以前) 274,734.86 m² (56.6 %) 210,377.67 m² (43.4 %) 【平成24(2012)年3月31日現在】 延床面積 用途別割合 ■ 公園 ■ その他 ■ 市民文化系 ■ 社会教育系 0.4% 3.9% 0.2% が大きいよ。 延床面積の割合 学校教育系施 公営住宅の □ スポーツ・レクリエーション系 延床面積合計 ■公営住宅 29.2% 485.112.53 m 1.2% ■ 行政系 7.3% ■医療 0.1% 市民1人当たり

用途別割合等がわかるよ 公共施設の建築推移や延床面積の 3ページの各グ 人口や歳出の推移とともに、 ラフを見て

【ストック情報(☆)】・建築年次

• 経過年数 ・延床面積 など

☆ 主に物理的な情報を意味します

【サービス情報】 延べ利用人数 施設稼働率

【費用(コスト)情報】 •現金支出

•現金収入 職員数 など ・減価償却費 など 表やグラフにを使用して、3つの視点で 対象の公共施設を用途別に分類し、 かるの 体、どんなことが



では、この白書で、

つまり、

建物ね

!!

平成 市民1 た総年間コスト※3 いることになるんだ。 と約4万5千円かかって かかっているんだ。 施設全体で 減価償却費※2 を含め 56億7千4百万円 23 年度1年間で 人当たりにする は、

結構古い建物も この公共施設の運営や たくさんあるのね!! 維持管理にどれだけの



公共施設総年間コストと用途別割合

【平成23(2011)年度決算、100万円未満四捨五入】

■社会教育系 1,900 万円 0.3%

■ 公園 ■ その他 13,000 万円 9,100 万円 2.3% 1.6% ■公営住宅 29,300 万円 5.2% ■市民文化系 100,800 万円 17.7% ■ 行政系 55,400 万円 9.7% ■ 保健・福祉 7.300 万円 1.3% ■子育て支援 72,600 万円 12.8%

「医療施設」総年間コスト=▲ 1,000 万円 「医療施設」は現金収入が多く、 総年間コストがマイナスになるため、 右円グラフでは表示していません。

■産業系 12,900 万円 2.3% ■学校教育系 241,500 万円 42.5%

総年間コスト合計 約56億7,400万円

■ スポーツ・レクリエーション系 24,600 万円 4.3%

市民1人当たり 総年間コスト45,000円

ストック情報やコスト情 表示しているから、 稼働率などをグラフで 各用途別に利用人数や ています。)のなかで、 白書(本編)(当資料4 とともに、ぜひ白書 ージ最下段でご案内

公共施設はどのくらい じゃあ、となると 学校教育系施設と市民 利用されているの? を占めているのね!! 支援施設で約7割以上 文化系施設と子育て 上の円グラフを見ると



- ※ 2 減価償却費…通常、市の会計では計上しない資産価値の減耗額を意味します。
- ※3 総年間コスト…現金支出-現金収入+減価償却費

高度成長期… 1955 年から 1973 年まで。 ※5 安定成長期… 1973 年から 1991 年まで。バブル期含む。

■ 保健・福祉 1.4%

■子育て支援 1.9%

延床面積 3.89 ㎡

※ 6 経済停滞期…不況期 (1991 年~ 2002 年)、景気拡張期 (2002 年~ 2008 年)、リーマン・ショックから現在まで (2008 年~)

■ 学校教育系 39.0%